

そよかぜ通信

2019年 10月 発行

療育・発達支援課

療育相談担当

住所 上市市河崎3-7-1

電話 023-673-3366(代)

今回のそよかぜ通信では、下記の内容をご紹介します。

- ◆ 山形県立こども医療療育センター 事務局長あいさつ
- ◆ センター事業紹介 児童発達支援センター（医療型・福祉型）
- ◆ 発達障がい者就労支援セミナー 開催報告
- ◆ センター夏まつりを行いました！



山形県立こども医療療育センター
事務局長 加藤 秀一

4月からこども医療療育センターで事務局長をしている加藤と申します。

昨年は10月に開催された「全国農業担い手サミット in やまがた」に御臨席されるために来形された皇太子殿下（現天皇陛下）が当センターを御視察されましたが、以前にも、昭和63年9月に開催された「第12回全国育樹祭」に御臨席されるために来形された皇太子殿下（現上皇陛下）も当センターを御視察されています。いずれも翌年に元号が変わっており、時代の節目（の前年）に2代連続で皇太子殿下の御訪問を受けたというのは何かの縁を感じるころであります。

当センターは、昭和57年に「山形県立総合療育訓練センター」として開設されましたが、この年は私が県職員として採用された年でもあります。以来37年が経過し、昭和、平成、令和の3つの時代を経験することになりました。医療棟は平成28年に新棟が完成しましたが、既存棟は、私の身体と同じようにいたるところで経年劣化が見られます。自らの身体とともに、適切にオーバーホールしながら上手に使っていかねばならないと感じております。

話は変わりますが、先日、全英女子オープンゴルフで、渋野日向子選手が初優勝を飾った際に、笑顔がすばらしいとして「スマイリング シンデレラ」と紹介されました。報道によれば、彼女は、調子が良くない時もプラス思考で苦境に立ち向かい、自ら笑顔を作って気持ちを落ち着かせているのだそうです。また、観客のある英国少年は、その笑顔に感激し、海外の選手と知りながら彼女の優勝を願っていたという記事もありました。

人は、険しい表情でいると、自らの精神状態も険しくなり、ミスを犯したり、他人にも張り詰めた空気が伝わりその場の空気も穏やかでなくなったりします。逆に、笑顔でいることで気持ちが落ち着き、他人の気持ちをも引き寄せ、元気を与えることもできます。笑顔は、その場の雰囲気も和やかにしてくれます。

当センターでは、多くの職種の職員が働いています。それぞれ自らの役割に責任を持ち、力を合わせて、一つになって、利用者の皆様と向き合い、寄り添っていきたいと考えていますので、よろしく願います。

当然ながら、その際には、“笑顔”を大切に…。

《こども医療療育センター事業紹介》

児童発達支援センターのご紹介

みなさんこんにちは！児童発達支援センターです。児童発達支援センターは、就学前のお子さんがお家の方と一緒に通園して、みんなで楽しく遊んだりリハビリを受けたりするところです。どこでどんなことをしているのかご紹介したいと思います。

みなさんのこんな疑問にお答えします。



Q 児童発達支援センターはどこにあるの？

A 管理棟の2階にあります。児童発達支援センターは、医療型と福祉型の2つの部門があります。

医療型児童発達支援センター

運動の発達に遅れや障がいのあるお子さんが対象です。主に北ディルームで保育を行っています。

福祉型児童発達支援センター

ことばの遅れや発達に偏りのあるお子さんが対象です。主に南ディルームで保育を行っています。

*リハビリは、医療棟1階の訓練室で個別に受けていただいています。

Q どんなことをするの？

A お家の方と一緒にいろいろな遊びを体験します。親子のふれあい遊び、体を使った運動遊び、べたべた・サラサラの感覚遊び、ゲーム等の他、温泉を利用したプール遊びも行っています。また、食事やトイレなど身の回りのことにも少しずつチャレンジできるよう支援しています。

Q 通園の時は、お家の人誰と一緒にでもいいの？

A はい。おとうさん、おかあさんはもちろん、おじいちゃん、おばあちゃん、どなたでも結構です。お子さんと一緒にいろいろな体験を重ねていただく中で、お子さんの特性についてより一層理解が深まったり、お子さんにあったアプローチの方法が見つかったりする機会になればと考えています。お子さんとじっくり関わる貴重な時間ですので、ご兄弟の同伴はご遠慮いただいています。

Q 家から遠くて毎日通えるか心配。

A 児童発達支援センターは、月～金曜日まで開設していますが、お子さんの体力や家庭の状況等に合わせて、主治医と相談して利用回数を選ぶことができます。また、地元の保育園・幼稚園・児童発達支援事業所との併用が可能です。

Q 給食はあるの？

A お子さんの発達にあった食事形態の給食を提供しています。
(機能訓練食、普通食、アレルギー除去食など)

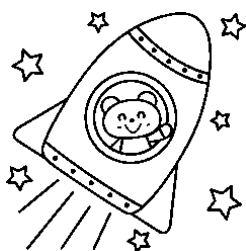


Q 通園は4月から？年度途中の入園はできるの？

A 通園開始の時期は、お子さんの状況によってまちまちですので、年度途中の入園も可能です。主治医にご相談ください。

Q 子どもだけ通うことはできるの？

A 児童発達支援センターは、親子通園が基本ですが、お子さんの発達段階に合わせて親子分離保育にも取り組んでいます。就園・就学に向けた、少人数グループの分離保育を曜日によって設定しています。



保育の様子をご紹介します。

写真や絵カードなどを使って、わかりやすく、楽しく活動できるよう工夫しています。



7月 ママと一緒に
短冊に願いごと・・・
そして、
ストロープール、豆遊び、
ローラーコースターでの
遊びの様子です。



おわりに・・・
最近では地域の保育園や幼稚園・児童発達支援事業所等と併用しているお子さんが増えてきました。児童発達支援センターでは、お家の方のご協力を得ながら、園の先生方との連携強化に取り組んでいます。お子さんがご家庭や地域等いろいろなところで生き生きと生活できるよう、お子さんひとりひとりの成長の“芽”を見つけ、おうちの方と一緒に温かく育てていきたいと思っています。

発達障がい者就労支援セミナー開催のご報告

R1.9.5 🍎🍎🍎

山形県発達障がい者支援センター

発達障がい者支援センターでは年に数回、発達障がいがある方を支援している支援者や当事者・家族に向けて研修会を開催しています。去る 9 月に山形労働局と共催で『発達障がい者就労支援セミナー』を開催し、障害者雇用の制度やしぐみ、特性にあった働き方について学ぶ機会を持ちました。

セミナーでは毎年、発達障がい者を雇用している企業から、実践的な取り組みをお話いただいております。今回は米沢市の株式会社エービーエム様より発達障がいの方の就労事例をお話いただきました。こちらの会社は総合ビル管理業の会社で、ビルの清掃をはじめ、貯水槽の清掃や警備などを行っています。以前から、障がい者雇用には熱心に取り組んでいる企業で去る 9 月 26 日に独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の理事長努力賞を受賞され、上の写真はそのときの様子です。また、地球温暖化対策にも積極的に取り組んでおられ、環境保全推進賞も受賞されております。



発達障がい者の雇用は T 君が初めてとのことで、雇用に至る経緯や経過をお聴きしました。



○発達障がいのある T 君について

T 君が掃除に興味を持っていたこともあり、3 回の就業実習を経て、新卒枠での採用です。非常にまじめで、職員ともよくしゃべり、実習中からなじんでいる様子が評価されたようです。



▲就労支援セミナーの様子です。皆さん、熱心に受講されていました。

◇T君の雇用を通して理解したこと

・通常 30 分かかる仕事を 10 分ほどで終了し報告にきたので、話し合ったところ、早く終わることは仕事をする上での優秀さを示すことだと考えていたことがわかりました。

⇒「質」が伴わなければ、やり直しになることを説明しました。従業員の対応も人によって違っていたことも本人を混乱させていたとの反省から、基本的な作業マニュアルを作成したそうです。

・朝礼が終わっても 1 人で座っていたことがあり、状況を察して動くことができないということを知りました。

⇒指示を書いて事前に渡し、メモを取らせるようにしました。また、本人のモチベーションをそがないように、注意の仕方に配慮したということです。

◇障がい者を雇用するにあたって必要なこと

- ・「障がい」について理解し、十分な受け入れ体制を敷くこと。
- ・事前に勉強会で学び、学校やジョブコーチなどの外部機関とも連携すること。

そのうえで

- ・できることと出来ないことを区別して伸ばすこと。出来る仕事をしてもらえばよい。
- ・障がい者雇用は、職場改善のきっかけになる。社員のレベルアップにつながり、チームワークもよくなる。

暖かな社風が感じられる発表で、会場の皆様からも“職場の方々の努力や思いが伝わる内容でした”“大変元気をもらいました”などの感想を多数いただきました。

村山障害者就業・生活支援センターの古瀬栄子さんから、発達障がいのある方が安心して働き続けるために大事なことを教えていただいたので、最後にご紹介します。

- ☆自分自身でできることと、職場に配慮してほしいことを整理する。
- ☆困った時に、気軽に相談できる人や機関がある。



センター 夏まつり



わっしょい!
ピッピッ!



♪ ゆかいな音楽隊 ♪
きてけろくんも
参加してくれました



どれがいいかな☆



猛暑が続くなか、令和元年 8 月 7 日(水)にセンター夏まつりが行われました。今年は☆きてけろくん☆が遊びに来てくれました!

えんにちコーナーでは、かき氷やジュース、エアヨーヨーやひもひき、ブリクラ写真館など皆さんに楽しんでいただけたようです。そのほか入所児童とゆかいな音楽隊が素敵な演奏を披露してくれました。また、おみこし隊も体育館と病棟をまわり元気な声を響かせてくれました。

準備や当日にお手伝いいただいたボランティアの皆さん、ありがとうございました。

【編集担当】 山形県立こども医療療育センター 療育・発達支援課 (担当: 太田・小林)
〒999-3145 山形県上山市河崎三丁目 7 番 1 号
TEL (023) 673-3366(代表) FAX (023) 673-3757